

授業科目名	ウィメンズヘルス看護学臨地実習	担当教員	◎下睦子、久保幸代、岩谷香
必修	開講年次：3年後期	単位：2単位	授業形態：臨地実習 90時間

### 【授業概要】

女性の健康生活を援助するために必要な基礎知識と技術を修得する。  
女性のライフサイクル各期におけるヘルスアセスメント技術、健康教育、看護技術、周産期にある人々への看護実践にたずさわり、またハイリスク状態の看護実践にも参加する。妊娠、分娩、産褥期にある女性と新生児の身体的、心理的、社会的変化がもたらす健康問題についてアセスメントし、看護計画を立案・実行・評価する。

### 【授業目的・目標】

1. 新しい家族の誕生期にある人々の理解と必要な日常生活における基本的なセルフケアを維持促進するよう援助するための技術が実践できる。
2. 女性の健康生活を援助するためのライフサイクル各期におけるヘルスアセスメント技術、健康教育、看護技術、周産期にある人々への看護実践ができる。
3. 妊婦の分娩各期の経過やそれに対する母子野家族の反応をアセスメントし、看護計画を立案、介入、評価する。
4. ハイリスク状態にある女性の健康状態について理解し、適切な看護介入を実践できる。

### 【履修条件】

「基礎看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ」、「ウィメンズヘルス看護学概論」、「周産期看護援助論」を修得していること

### 【授業計画】

実習 1～5 日目 褥婦・新生児を対象とした実習  
 実習 6 日目 妊婦・産婦の看護技術演習  
 実習 7 日目 妊婦を対象とした実習  
 実習 8 日目 産婦を対象とした実習  
 実習 9 日目 育児期の母親を対象とした実習  
 実習 10 日目 まとめ：妊娠期から育児期への支援と看護の役割についての討論

### 【教科書】

指定なし

### 【参考書】

周産期看護援助論で使用した以下のテキストを参考書とする。

1. 森恵美著他（2016）系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学各論，医学書院
2. 村本淳子編著他（2009）母性看護学1 妊娠・分娩，医歯薬出版株式会社
3. 今津ひとみ編著他（2011）母性看護学2 産褥・新生児，医歯薬出版株式会社
4. 新道幸恵編集他（2012）新体系 看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護，メヂカルフレンド社
5. 大平光子編集他（2014）母性看護学Ⅱ マタニティサイクル，南江堂

### 【評価方法・評価基準】

実習目標への到達度による評価（80%）、課題レポート（10%）、カンファレンス（10%）

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：周産期看護援助論での講義内容、演習内容をまとめる。妊産褥婦と新生児に必要な看護技術を事前に練習する。

事後学習：実習中の記録を振り返り補完する。育児期の実習を振り返り、レポートを作成する。

### 【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅸ. あらゆる対象に向けた包括的な看護実践能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習に関わる記録は、全領域実習が終了した時点（3年後期）で学生個人に返却する。

### 【備考】

周産期看護学援助論の妊産褥婦・新生児とその家族についての看護の理解を深め、実習に臨む。